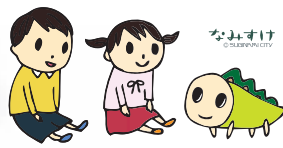




すぎなみ 教育報



No.220

平成28年3月17日
(年4回発行)

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 03-3312-2111 FAX 03-5307-0692

平成28年度の教育予算をお知らせします

「豊かさと安心を未来に広げる予算」と名付けた杉並区の平成28年度予算が、3月16日(水)に、区議会で可決成立しました。

教育予算は、161億5,485万9千円(区の一般会計予算の約9%)であり、その主な内容をお知らせします。

就学前教育

- (仮称) 就学前教育支援センターの整備

学校教育

- 特別支援教育の充実
 - ◇ 小学校における特別支援教室の設置
 - ◇ 中学校における情緒障害通級指導学級の増設
- 副校長校務支援員の配置
- 「部活動活性化事業」の本格実施
- 地域運営学校(コミュニティ・スクール)の指定拡大

学校施設

- 高円寺地域の小中一貫教育校の整備
- 桃井第二小学校の改築
- 杉並第一小学校の改築・複合化

生涯学習

- 次世代型科学教育の推進
 - ◇ 小中学校における理科出前授業の実施
 - ◇ 区内イベント等とタイアップした天文学習事業の実施
 - ◇ 科学博覧会やサイエンスコミュニケーション事業の実施
- 荻外荘^{てきがいそう}に関する特別展等の実施

スポーツ

- 妙正寺体育館の改築
- 永福体育館の移転改修
- チャレンジ・アスリート事業の充実

詳細は2面・3面をご覧ください

「共に学び 共に支え 共に創る 杉並の教育」の実現に向けて

平成28年度は、平成24年度から平成33年度までの10年間を見据えて策定した「杉並区教育ビジョン2012」の前半最後の年です。そのため、新年度の教育予算では、本ビジョンに掲げた目標である、「共に学び 共に支え 共に創る 杉並の教育」の実現に向けた取組を一層加速化させることとして編成いたしました。

この中で、新たな取組としては、幼児教育の質の向上を図るための(仮称)就学前教育支援センターの整備や、区立小中学校副校長の校務遂行を支援するための人材配置、全小学校における特別支援教室の段階的設置などがあります。

生涯学習・スポーツ分野では、身近な学校や施

設に出向いて行う次世代型科学教育事業を充実させるほか、本年3月1日に国の史跡指定を受けた「荻外荘」に関する特別展等を実施していきます。また、平成26年度から改築工事を進めていた妙正寺体育館が本年10月にリニューアルオープンするとともに、旧永福南小学校に移転改修する永福体育館については、その併設施設として23区内で初となる国際規格による屋外ビーチコートを整備していくこととしています。

教育委員会といたしましては、保護者の皆様や地域の方々と共に、これらの取組を着実に進めてまいりますので、今後ともご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



杉並区教育委員会
教育長 井出隆安

平成28年度の教育予算における主な取組

就学前教育

● (仮称) 就学前教育支援センターの整備

成田西二丁目用地(成田西二丁目24番)を活用し、成田西子保育園の移転改築とともに、その併設施設として新たに(仮称)就学前教育支援センターを整備します。平成28年度は基本設計等を行い、平成31年度に開設する予定です。

同センターでは、近年増加傾向にある発達障害児等への教育的支援を含め、区内の幼稚園・保育所等の就学前教育施設における幼児教育の質を向上させるための支援を総合的・一体的に行っていきます。



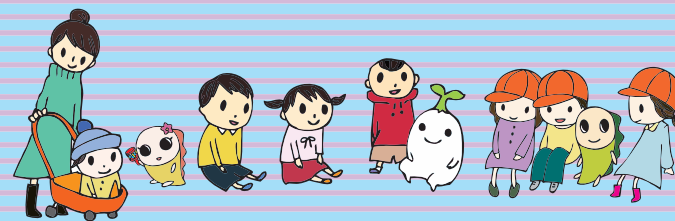
園庭で踊る幼児たちの様子(堀ノ内子保育園)

● 地域運営学校(コミュニティ・スクール)の指定拡大

平成33年度の全小中学校の指定に向け、毎年度4校としていた地域運営学校(コミュニティ・スクール)新規指定校を、平成28年度は6校(累計38校)に拡大し、地域に開かれ支えられる学校づくりを一層推進します。



学校運営協議会の様子(和田小学校)



学校教育

● 特別支援教育の充実

◇ 小学校における特別支援教室の設置

児童が在籍校から通って必要な指導を受ける、現在の情緒障害通級指導学級に代えて、教員が巡回して指導を行う特別支援教室を、平成28年度から3年間で全小学校へ設置し、対象児童に対する指導を一層充実していきます。

初年度となる平成28年度は富士見丘小エリアの6校(富士見丘小、高井戸小、高井戸第二小、高井戸第三小、高井戸東小、久我山小)に設置します。

◇ 中学校における情緒障害通級指導学級の増設

特別な支援を必要とする生徒が増加している現状を踏まえ、平成28年4月に、高井戸中学校に情緒障害通級指導学級(2学級、定員計20名)を新規開設(中学校での開設は3校目)します。

● 副校長校務支援員の配置

大規模校や校舎改築等の重要課題を有する学校を対象として、新たに区独自の副校長校務支援員を配置します。

これによって生み出された副校長の時間と労力を教職員の指導・育成や地域との連携・協働等の推進に充てることで、より円滑な学校経営と教育活動の活性化を図っていきます。

● 「部活動活性化事業」の本格実施

従来の顧問教員による中学校における部活動の実施が困難になっている現状を踏まえ、部活動指導について、新たに平日及び対外試合等にも適用拡大した「部活動活性化事業」を本格実施します。



部活動活性化事業の様子(テニス)

学校施設

● 高円寺地域の小中一貫教育校の整備

昨年4月に開校した杉並和泉学園に続き、区内2校目となる施設一体型小中一貫教育校(杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校を統合)の整備(平成31年4月開校予定)に向けて、平成28年度は実施設計等を行います。

新たな学校には、小中学校の交流スペースのほか、新たに知的障害固定学級を設置するなど、小中9年間を見据え、より充実した教育活動を確保していきます。



完成イメージ図

● 桃井第二小学校の改築

桃井第二小学校の老朽改築(平成31年度開校予定)に向けて、平成28年度は実施設計を行うとともに、改築工事期間中における仮設校舎・仮設体育館の校庭内整備等を実施します。

改築後は、学年ごとの多目的スペースや整形で広い校庭を確保するとともに、学童クラブをはじめとした、多様で豊かな放課後等の活動が可能な施設とします。

● 杉並第一小学校の改築・複合化

杉並第一小学校の老朽改築(平成33年度開校予定)に合わせて、阿佐谷地域区民センター及び産業商工会館の集会関連機能等を複合化した施設とするため、平成28年度は基本設計等を行います。

改築・複合化後は、学校教育環境の充実に加え、複合化するホールや展示スペース等の集会機能を、杉並第一小学校における教育活動に有効活用していきます。

● チャレンジ・アスリート事業の充実

子どもたちを対象に、元オリンピック選手による実技指導やパラリンピック種目体験などを行う、チャレンジ・アスリート事業について、内容を一層充実して実施していきます。



パラリンピック種目体験の様子

生涯学習

● 次世代型科学教育の推進

身近な学校や地域施設等で常に最先端の科学を提供し、子どもから大人まで世代を超えて科学に親しみ、学ぶことができる次世代型科学教育事業を一層推進します。

- ◇ 小中学校における理科出前授業の実施
- ◇ 区内イベント等とタイアップした天文学習事業の実施
- ◇ 科学博覧会やサイエンスコミュニケーション事業*の実施

*科学に関する各種の体験・交流事業



サイエンスフェスタの様子



観望会の様子

● 荻外荘に関する特別展等の実施

荻外荘に対する国の史跡指定(3月1日付けで指定。詳細は4面をご覧ください。)を受け、郷土博物館及び同分館等において、特別展や記念講演等を実施します。

スポーツ

● 妙正寺体育館の改築

平成26年度から改築工事中であった妙正寺体育館が、本年10月に、小体育室等の新たな機能を加えてリニューアルオープンします。



完成イメージ図

● 永福体育館の移転改修

旧永福南小学校への永福体育館の移転改修(平成29年度開館予定)に向け、平成28年度は改修工事に着手します。

同体育館には、2020年の東京オリンピック競技大会の練習会場としての活用も視野に、23区内で初となる国際規格による屋外ビーチコート(2面)を整備していきます。

郷土博物館準常設展「杉並文学館 ― 井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士 ―」
昭和2年以来杉並に住んでいた作家・井伏鱒二を中心に、個性溢れる阿佐ヶ谷文士の姿を貴重な資料とともに紹介します。また3月の桃の節供にあわせ、作家・有吉佐和子の御殿雛なども展示し、作家やその家族が愛した雛をめぐるものがたりを紹介します。
【展示期間】平成28年2月27日(土)～4月10日(日) 【問合せ】郷土博物館 ☎03-3317-0841
【休館日】毎週月曜・毎月第3木曜(祝日の場合はその翌日が休館)

平成28年度 就学援助のお知らせ
就学援助は、区内在住で国公立の小・中学校に通学している児童・生徒の保護者に対し、学校に必要な費用の一部を杉並区が援助する制度です。
【対象】杉並区に居住している児童・生徒と同居の保護者で、次のいずれかに該当する方
(1) 現在、福祉事務所の生活保護を受けている。(2) 平成27年4月1日以降に、生活保護が停止・廃止になった。
(3) 平成27年中の世帯員全員の総所得金額の合計が、教育委員会で定める認定基準額以下の世帯。
【申込】申請書は、4月以降に区立小・中学校または学務課就学奨励担当で配布します。区外の学校に通学している児童・生徒の保護者で、就学援助の受給を希望される方は、同担当までお問合せください。 【問合せ】学務課就学奨励担当

野球で日本と台湾の友情を育もう ～以球會友、促進台日友誼～



「平成27年度 交流自治体中学生親善野球大会」が、平成27年12月26日から29日まで、台湾台北市で開催されました。今回で5回目となる本大会は、杉並区の中学2年生の選抜選手による「オール杉並」30名と福島県南相馬市、北海道名寄市の中学生が参加しました。

選手たちは、台湾の中学生との親善試合や交流夕食会、現地校でのレクリエーション等を通して、文化や言葉の壁を越えた友情を育むことができました。また、事前の学習会で台湾の文化や風土・言語を学ぶなど、野球以外の活動にも積極的に取り組み、異文化理解を深めました。

本事業は「杉並区次世代育成基金」を活用して実施しており、平成28年度は、10月に台湾の中学生を杉並に招いて大会を開催する予定です。

主な杉並区中学生の声

- 台湾の選手の言葉はわからなかったけれど、試合をすることで野球に対する気持ちがプレーを通じて伝わってきました。
- 言葉は通じなくても野球でコミュニケーションがとれるということを実際に肌で感じる事ができてよかったです。

「次世代育成基金」に皆様の応援寄附をお願いします。寄附のお申し出は、児童青少年課青少年係 ☎03-3393-4760 へ。

問合せ：スポーツ振興課 事業係

杉並区体力向上センター校の取組 (東田小学校、桃井第一小学校、方南小学校)

◀「からだ力」の向上▶

3校では、平成24年度からの4年間、杉並区体力向上センター校として、子どもたちの総合的な体力(運動能力や健康な心身を総称して「からだ力」と表現している)の向上を目指して、研究を進めてきました。

その結果、総合的な体力「からだ力」を身につけるためには、特に家庭との連携が大切なことから、毎日の運動・生活習慣チェック表、親子でできる運動例集、歩数調査等をまとめた冊子「からだ力ブック」を作成しました。

今後は、この冊子を活用した取組を全ての小学校へ拡大させるように取り組んでいきます。



◀オリンピック・パラリンピック教育の推進▶



この3校では東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進校としての取組も併せて進めてきました。

平成28年度からは、全ての区立学校で、「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」、

「文化」、「環境」を合わせた4つのテーマと「学ぶ」「観る」「する」「支える」の4つのアクションを組み合わせ、多彩な「オリンピック・パラリンピック教育」を推進していきます。

3月1日(火)に

「荻外荘(近衛文麿旧宅)」

が国の史跡に指定されました



杉並区荻窪の閑静な住宅街にある「荻外荘」は、内閣総理大臣を3度務めた政治家・近衛文麿が、昭和12(1937)年の第一次内閣期から昭和20(1945)年12月の自決に至る期間を過ごし、昭和前期の政治の転換点となる重要な会議を数多く行った場所です。

昭和15(1940)年に第二次内閣の組閣前に行われた、いわゆる荻窪会談では、ドイツ・イタリアとの連携強化をはじめとした対外政策を含む、第二次近衛内閣の重要な方針が話し合われました。また、昭和16(1941)年には、日米開戦前の重要な会議が開かれています。

「荻外荘」は、こうした歴史を持つ、日本政治史上の重要な場所として、国の史跡に指定されたものです。

国史跡指定記念講演会「近衛家陽明文庫について」

荻外荘の国史跡指定を記念して、近衛文麿が設立した陽明文庫の「至宝」の数々と近衛家の歴史についての講演会を開催します。

日時：平成28年3月26日(土)

午後2時～午後3時30分 (開場 午後1時30分)

場所：セシオン杉並(梅里1-22-32) 第8・9・10集会室

講師：公益財団法人陽明文庫 名和 修 文庫長

定員：120名(先着順) 入場無料

問合せ：生涯学習推進課 文化財係

年間連載シリーズ(第4回・最終回)

～子どもの学びの可能性を拓げる～ 小学校のICT活用事例



天沼小学校 5年生

体育科「跳び箱運動(台上前転の学習)」では、ペアになりタブレット端末で技を撮影し合い、自分の動きを確認しました。

「頭のてっぺんが着いているよ」、タブレット端末で撮影した映像をペアで見ながら話し合っています。

タブレット端末には、お手本の動画も保存されていて、技のポイントを繰り返し見たり、自分の動き

と見比べたりすることができます。

「次は頭の後ろが着くように回ってみよう」、確認した点を意識してまた技に取り組みます。それを何度も繰り返しながら技能を高めていきます。

このように、子どもたちが必要な時に「いつでも」「どこでも」使えるタブレット端末は、子どもたちの学習を充実させる強力な「助っ人」です。

平成28年度は、全小中学校でICTを活用した公開授業を実施するほか、小学校に引き続き中学校でもデジタル教科書の導入を予定するなど、従来の学習活動にICTを取り入れ、子どもたちの学びの可能性を一層拓けていきます。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

教育委員会の動き(平成27年12月～平成28年2月)

●再生紙を使用しています

【教育委員会開催状況】 ・定例会 4回 ・臨時会 1回 ・議案 23件 ・報告事項 18件

【主な案件】 ◎は議案、○は報告事項

◎ 「杉並区子ども読書活動推進計画(平成28・29年度)」案について

○ 学校運営協議会委員の任命について

○ 「すぎなみサイエンスフェスタ」の開催について

○ 桃井第二小学校校舎改築検討懇談会のまとめについて

○ 杉並区中学生レスキュー隊の「第12回地域の防火防災功労賞」の受賞について

○ 平成27年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰の決定について

◎ 地域運営学校(コミュニティ・スクール)の再指定について

○ 平成27年度「すぎなみ教育シンポジウム」の開催結果報告について

○ 高円寺地域における小中一貫教育校建設工事の基本設計について